



# ”だれもが使える 『共用空間データ利用環境』が もたらす効果とは！”

（「リアルタイム」に「シームレス」で新鮮な地理空間情報利用環境の整備推進を！）

昨年8月に施行された「地理空間情報活用推進基本法」を軸とした、“共用空間データ共同利用環境とは？”をテーマとし、地域におけるGISを推進するための基盤情報整備と官民共同利用に関し、国、地方公共団体、民間それぞれの立場から利用環境がもたらす効果と問題点について、日本でも屈指の有識者をお招きし、様々な観点からディスカッションして頂きます。

平成20年2月22日（金）

午後 13:00 ～ 17:00

【会場】 リージョンプラザ上越  
コンサートホール

新潟県上越市下門前446-2

URL: <http://www.city.joetsu.niigata.jp/sisetu/region/>

【入場料】 無 料（事前登録制）

（当日参加も可能ですが、なるべく事前に申込みください）

【参加申し込み】

別紙の申込用紙に必要事項を記入し、FAX  
又はmailにてお申し込みください。

●主 催：地理空間情報活用推進シンポジウム実行委員会

・上越GIS技術研究会 ・NPO全国GIS技術研究会  
・NPO 関東甲信越東海GIS技術研究会 ・NPO上越地域活性化機構

●協 賛

・新潟県IT & ITS推進協議会  
・にいがたGIS協議会 ・長岡GIS研究会

●後 援

・総務省 ・国土地理院  
・国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所  
・新潟県 ・上越市 ・妙高市 ・糸魚川市  
・地理情報システム学会 ・上越商工会議所  
・新潟日报社

## 行政の効率化・高度化

（国・地方公共団体の枠を  
超えた情報共有による  
行政の効率化・高度化）

- ・行政において地図が共有されれば行政の効率化及び経費削減。
- ・地図を使った電子申請が可能となり、申請側と受付側の業務の効率化。

### 電子申請



## 新産業・新サービスの創出

（物流、福祉・介護、観光等  
幅広い分野における経済活性化）

- ・GPS付き携帯電話から現在位置を送信することで、イベント、天気予報等の情報を受け、おすすめのレストランを探し、予約まで可能。



- ・「要介護者のための外出支援ロボット」が可能。
- ・いる場所と時刻に対して「ただけだけ広告」（そこだけ、その人だけ広告）が可能。
- ・GPS付き携帯電話から救援信号を発すると警備員が急行するサービスが可能。

## プ ロ グ ラ ム

### 第一部 講演会

- ご挨拶  
国土地理院北陸地方測量部長 高橋 保博 氏
- 基調講演  
「地理空間情報活用推進基本法と自治体GIS」  
元GIS学会会長 奈良大学文学部地理学科教授 碓井 照子 氏
- 特別講演  
「道路を安全で使いやすくする地理空間情報」  
元国土地理院長 財団法人 日本デジタル道路地図協会専務理事 矢口 彰 氏

### 第二部 パネルディスカッション

- テーマ  
だれもが使える「共用空間データ利用環境」がもたらす効果とは！
- コーディネーター  
・碓井 照子 氏  
奈良大学文学部地理学科教授（元GIS学会会長）
- パネラー  
・井上 知義 氏  
総務省自治行政政局自治政策課地域情報室長  
・矢口 彰 氏  
財団法人 日本デジタル道路地図協会 専務理事  
・浅野 和仁 氏  
大阪府富田林市 市長公室政策推進室企画調整係長  
・齊藤 清一 氏  
糸魚川市企画財政課主査  
・宮下 寿幸 氏  
上越GIS技術研究会 会長

## 国民生活の利便性の向上 （安全・安心の確保）

（迅速・的確な災害対策、  
ユニバーサル社会の実現）

- ・災害弱者のデータをGISに入れておけば、災害が発生した際に、救援が迅速化。

### 災害弱者への対応



※図は、国土地理院ホーム  
ページより抜粋